



GO² ブロードウェイ

2017年05月28日
若竹ミュージカル
運営委員会 発行

<http://wakatake.la.cocacn.jp/Toppage.html>

あらどいのない 平和で しずかな 世界でありますように……



～ “若竹ミュージカル(人生)” という舞台～

金 聖雄

2017年若竹ミュージカル公演「ウエスト・サイド・ストーリー」またもや心が揺さぶられた。なにか今回の公演は若竹ミュージカルの底力を思い知らされたような気がする。上辺だけ見ると失礼ながら母や父たちが演じる若者には、ちょっと無理があるし(笑)、ジェット団とシャーク団の闘いは切れ味鋭い若者のそれとは違っていた。結局またもや「歌はヘタ、踊りもいまいち、でもなんだか感動する！」にやられたわけだが、ではなぜ感動したのだろうか!?ひとつはバランスだと思う。2度目の「ウエスト・サイド・ストーリー」、オーケストラ、キャスト、それぞれの演技経験、そしていうまでもなく、みんなを束ねる音楽監督、広井さん力。すべてが絶妙なバランスでまとまったのだと思う。もうひとつは“それぞれの人生”という壮大な舞台を観ているような気持ちにさせられたということ。真奈ちゃんがない、相磯君がない、山本先生が…。一方、新メンバーたちが生き生きと輝きを放ち、ベテランメンバーの演技は渋みを増していた。みんなさまざまな現実を抱えながら舞台に立つ。「そうか若竹ミュージカルの舞台を観るということは、みんなの人生を観ているということなんだ」と思った時になんとか猛烈に感動した。“若竹ミュージカル(人生)”という舞台が続く限り、また幕は上がる。次はいったいどんな物語が繰り広げられるのか。一観客としてフィナーレまで見届けたい。